

令和4年度 特色ある道徳教育推進校

八千代市立みどりが丘小学校

研究主題 共に学び、豊かな心をもつ子どもの育成

取組1 道徳科における指導の工夫

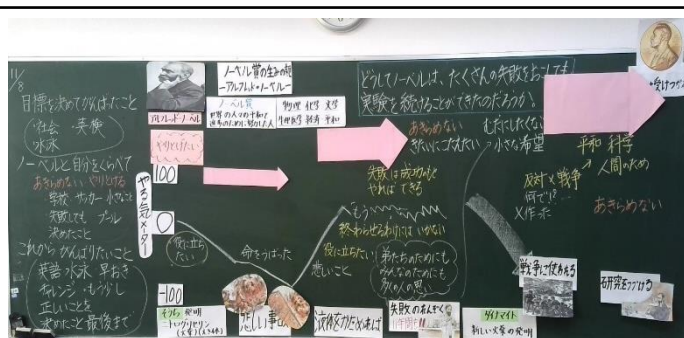
<工夫① 多様な指導法の研究>



- ・実物大の教具を作成して教材理解を深めた。



- ・役割演技を行い、体験的な活動を取り入れた。

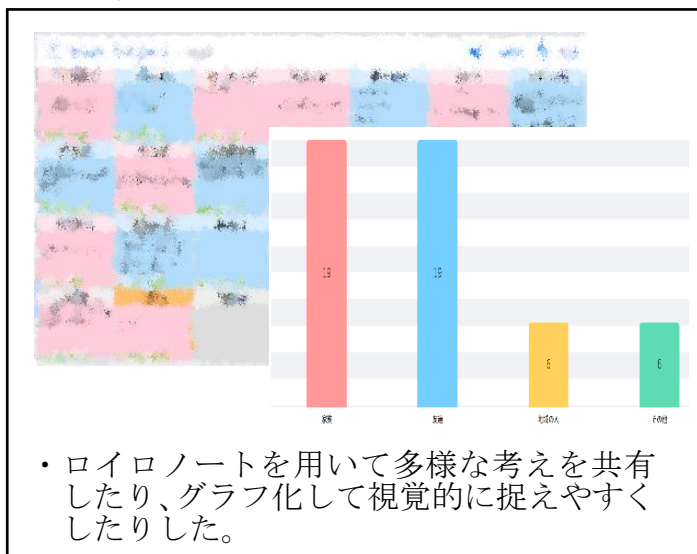


- ・構造的な板書づくりに努めて児童の思考の深まりが見取れるようにした。



- ・ペアやグループでの伝え合い、話し合い活動を行った。

<工夫② ICTの活用>



- ・ロイロノートを用いて多様な考えを共有したり、グラフ化して視覚的に捉えやすかったりした。

<工夫③ 評価の工夫>

- ・道徳科の授業後に、三つの観点で児童が自己評価を行った。

観点1：多面的・多角的に考えられたか。

観点2：自分のこととして考えられたか。

観点3：自分の考えをもてたか。
自分の考えが深められたか。

- ・また、その中の一つについて文章で表記することで教師の指導の評価にも活用した。

<工夫④ 「授業シート」の活用>

各部会の重点目標を設定し、重点目標に沿った授業づくりができるように「授業シート」(右図)を作成した。

この「授業シート」をもとに、毎週金曜日の学年会で道徳科授業についての検討を行った。

(各部会の重点目標)

低学年部会 : 自分事として課題を捉える

中学年部会 : 一人一人が道徳的価値に対する自分の考えをもつ

高学年部会 : 一人一人が道徳的価値に対する自分の考えを深める

特別支援部会 : よりよく生きようとする

部会のテーマに対する手立てと、児童の様子

多面的・多角的に考えるための手立てと児童の様子

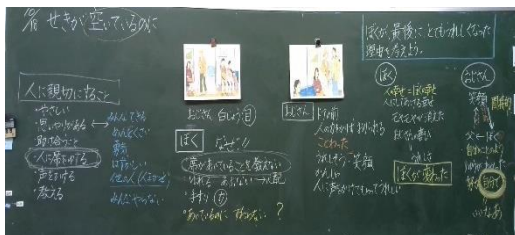
学年会で話し合った内容

担当部会	作成日
	9/15
教科名	9年 エキゾチック
内容項目	し (伝統工芸の尊重、国産工芸品の活用)
部会テーマ	一人一人が道徳的価値に対する自分の考えをもつ
部会のテーマに対する授業での手立て	「エキゾチック」と「伝統工芸」の紹介、児童の意見の共有を促す。
手立てに対しての児童の様子	「エキゾチック」と「伝統工芸」の紹介に「面白い」「素敵だ」という意見が多かった。多面的・多角的に考えるための手立てが効果的であった。
手立てに対しての児童の様子	「エキゾチック」と「伝統工芸」の紹介に「面白い」「素敵だ」という意見が多かった。
学年会で話し合った内容	「エキゾチック」と「伝統工芸」の紹介に「面白い」「素敵だ」という意見が多かった。多面的・多角的に考えるための手立てが効果的であった。

図「授業シート」

取組 2 教育活動全体における指導の充実

道徳科の授業を核として、他の教育活動との関連を図った実践を行った。



道徳科「席が空いているのに」



福祉体験教室

道徳科の授業で、親切についての考えを深めた上で車椅子体験や白杖体験を行った。

道徳科の授業で学んだことを、体験を通して捉え直すことで、相手の立場に立つことや親切のよさについての考えを深めることができていた。



主な成果 (○) と課題 (●)

- 「授業シート」の活用をすることで、学年全体で道徳科の授業をする際の重点を意識したり、教材研究を深めたりすることができた。
- 指導方法を工夫することで、児童の思考が深まり道徳科の授業に対する意欲が高まった。
- 毎時間の自己評価について、有効な振り返りの仕方や研究への活用の仕方を検討していく必要がある。

1 主題名 あなたなら、どうする？ A－(1) 善悪の判断

2 教材名 「思いきって言ったらどうなるの？」(出典：「ゆたかな心 3年」光文書院)

3 主題について

本主題は、学習指導要領解説道徳編の内容A－1(中学年)「正しいと判断したことは、自信をもって行うこと。」を受けて設定している。この内容項目は、物事の善悪についての確に判断し、自ら正しいと信じるころに従って主体的に行動すること、自由を大切にするとともに、それに伴う自律性や責任を自覚することに関する内容項目である。人として行ってよいこと、社会通念として行ってはならないことをしっかりと区別したり、判断したりする力は、児童が幼い時期から徹底して身に付けていくべきものである。

小学校中学年の段階では、様々な学習や生活を通して、正しいことや正しくないことについての判断力が高まってくる。しかし、正しいことと知りつつも、そのことをなかなか実行できなかつたり、悪いことと知りながらも周囲に流されたり、自分の弱さに負けたりしてしまうこともある。われわれは、正しいことを行えなかつた時は、後ろめたさや後悔の念を、正しいことを行動した時の自信と誇りを抱く。それは正しいことを実現したいとする心が、一人一人にあるからである。迷いやためらいに負けず、自信をもって正しいことをし、正しくないことを止めようとする強い心を育てることが大切である。また、判断のもとになるものが、自分だけの視点に立ったものではなく、相手や周囲の人など自分を取り囲む様々な人の立場や思いなど多面的な見方をすることや、より長期的な視点で判断について捉えることで、よりよい判断をすることにつながっていくと考える。

4 教材について

本教材の主人公は、仲のよいあやちゃんに「さとみを仲間はずれにしよう」と誘われるという話である。誰もが一度は経験したことがあるような問題であり、子供たちも身近な問題として捉えることができるであろう。しかし、どうすることが正しいかを判断することはできるが、なかなか実行に移すことができず、もやもやした思いで過ごす主人公に対して共感しやすい教材である。そのため、よりよい判断をしたい気持ちと、周りに流されてしまう気持ちを、うまく整理できずに学習を終えてしまう可能性も考えられる。そこで、主人公へ共感したり人間の弱さにも触れたりしつつも、仲間外れがなぜよくないのか様々な立場に立って多面的・多角的に考え、話し合うことで「やはり自分は勇気をもって正しいことをしたい」という気持ちをもつことのできる教材である。

5 本時の指導

(1) ねらい

主人公の思いや、置かれた立場をもとに、様々な判断を考えることを通して、自信

をもってよりよい行いをしようとする道徳的な判断力を養う。

(2) 展開

過程	学習活動と主な発問	予想される児童の反応	支援及び指導上の留意点 (○)・評価(☆)
展開 3分 37分	<p>1 教材の内容を確認する。</p> <p>○読んだ感想を共有する。</p> <p>2 本時の課題をつかむ。</p> <p>○それぞれどんな思いを抱えているのだろう。</p> <p>○「思いきって言う」は誰に何を言うことなのか。</p> <p>◎どのようなことを誰に言ったらどうなるのかを考えてみよう。</p> <p>3 話し合いをする。</p> <p>○グループで自分の考えを発表する。</p> <p>○全体で考えを共有する。</p> <p>○より多くの人が楽しくいられる方法はどれだろう。</p> <p>○一番よいと思う方法に印を付ける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・この後どうすればよいか分からない。 ・「仲間外れ」にしよう誘われたが、仲間外れはしたくない。断れば立場が悪くなる。 ・様々な選択肢毎に、どのような結果が起こるかを考えてワークシートに記入する。 ・自分の意見を言えないまま友達でいても辛いから断った方がよい。 ・どれを選んでもよいことと悪いことがある。 ・長い目で見れば、みんなのためになるのは、ここで断ることだと思う。 ・今はよくても、未来がよくなる方法もあるね。 ・みんなが少しずつよくなるのはどんな方法だろう。 	<p>支援及び指導上の留意点 (○)・評価(☆)</p> <p>○事前に教材を読む。</p> <p>○事前に収集した児童の感想や関心のあることを資料で提示する。</p> <p>○登場人物の思いをまとめる。</p> <p>映像資料参照</p> <p>○「思い切って言ったらどうなるの」という題名から、誰に何を言うかを考えさせ、その後取り得る判断とその理由や結果について考えさせる。</p> <p>映像資料参照</p> <p>○選択した行動をとることで、どんなことが起こるかを想定して書くように助言する。</p> <p>☆様々な立場から状況や思いについて考えた上で善悪の判断ができています。(ワークシート、発言)</p> <p>○最終的な自分の考えを明確にもち判断をさせる。</p>
終末 5分	<p>4 振り返る。</p> <p>○学習の中で考えたことや思ったことを書こう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・勇気が必要だけど、悪いことは悪いと言えるようになりたい。 	<p>○判断する時にどんなことを考えるとよいか確認する。</p>

(3) ① 授業の様子



② 児童の様子

様々な判断を考え、話し合うことで、多面的・多角的な考えに触れられているようだった。また、それぞれの判断をした後の未来がどのようなものになるかを考えることで、主人公だけでなく立場から、よりよい判断についても考えを深めることができていた。